

有限会社 小柴製作所

研磨等金属加工

1980年にふじみ野市にて創業。管楽器メーカーの金属加工部門として、研磨などを担っています。特に、鏡面研磨加工を得意とし、世界的サクソフォンメーカーであるYANAGISAWA(ヤナギサワ)の重要部品の研磨やロー付けを任されており、その他、フルートなどの研磨も取り扱っています。新しい取組として、楽器の加工技術を活かして、国内では唯一のラグビー専用ホイッスルを自社製品化。鏡面研磨で仕上げた高級感あふれるホイッスルは多くのメディアでも話題になりました。ラグビーワールドカップ2019日本大会でその音色が響き渡るよう挑戦しています。

主要事業、得意技術や自社製品の紹介

- 金属加工のバフ研磨、バレル研磨、半田付け、ロー付けなどの加工を実施しており、特に、鏡面加工を得意としています。
- バフ研磨では、アルミ、真鍮、ステンレスなどに対応しており、管楽器、アルミキャストなどの研磨を多数扱っています。
- バレル研磨では、均一な仕上がりで量産対応が可能。光沢バレルを得意にしている。
- ロー付け、半田付け加工では、真鍮、銅などを対象に、管楽器で培った精密で細やかな加工が可能です。

提供したいこと&求めること

- 市内では少なくなった研磨加工などをお受けします。金属加工のことなら何でもご相談ください。

国際資格の取得、主な表彰、開発実績

- 国内唯一、ラグビー用ホイッスルの開発



サクソフォンの半田付け作業



美しく研磨されたフルート



サクソフォン部品のバレル研磨加工例



小柴製作所製ラグビー用ホイッスル

熟練の金属加工技術で、美しい楽器づくりを支えています